

大飯4号機運転再開遅れ

配管水漏れで来月21日に

関西電力は二十七日、定期検査中の大飯原発4号機（おおい町）の運転再開日について、予定していた七月四日から同二十一日に遅らせること発表した。原発内を流れる水からさびなどを取り除く作業で使う配管に水漏れが見つかり、配管を

取り換える必要が生じたため。

問題の配管は、放射性物質を含む水は流れておらず、運転時は使用しない。水漏れした箇所は直径一ミリ以下の穴一つが見つかり、原因を調べている。新たな予定では七月二十三日に発送電を始め、八月十七日か

ら営業運転する。

関西電力送配電によると、電力供給の余力を示す七月の供給予備率は、関西電、北陸電、中国電、四国電、九州電の合算で3・8%。大飯4号機の運転再開遅れにより、安定供給の最低限と同じ3%となる。関西電の原発で現在稼働しているのは大飯3号機のみ。